

『(一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会』
2016年度第1回(通算第19回)理事会 議事録
(議事録作成:事務局 立花)

日 時:2016年 6月 2日(木)18:00~20:00

会 場:NPO 法人シーズネット会議室(北区北10条西4丁目)

出席者:(理事)奥田龍人、鹿野憲、石田幸子、沼田典子、天野佐智子、梅澤秀幸
(事務局)立花和浩

欠席者:(理事)川尻明、関口由美、下川孝志、本見守都巳

※敬称略

私は、本議事録を確認したことを証し、署名する。

議長 : 奥田龍人
(会長・理事、奥田社会福祉士事務所)

議事録署名人: 鹿野憲
(副会長・理事、社会福祉法人
札幌南勤労者在宅医療福祉協会)

議事録署名人: 石田幸子
(副会長・理事、(株)アルワン)

【会議次第】

- 1 議長選出
- 2 理事会定数の確認
- 3 議事録署名人の選任
- 4 報告事項
 - 1) 会員数の現状報告(6月 1日現在)
 - 2) 協会の収支状況報告(3月末日現在)
 - 3) 第2回定期総会(6月25日)
 - 4) 「介護保険外 地域資源ガイド」
 - 5) 2016年度「サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修」(春季5、6月、秋季10、11月の2回)
 - 6) 2016年度「サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修」(8月初旬)
 - 7) 2016年度「サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修」(9月初旬)
 - 8) 委員会開催状況
 - 9) その他

5 協議事項

- 1) 総会議案書について
- 2) シーズネット設立15周年記念誌への広告協力について
- 3) その他

6 次回開催について

【議事内容】

1 議長選出

- 定款により奥田会長が議長に就任

2 理事会定数の確認

- 出席：奥田、鹿野、石田、沼田、天野、梅澤
10名中6名で、2分の1を満たしているので理事会の成立を宣言

3 議事録署名人の選任

- 鹿野理事、石田理事を選任

4 報告事項

1) 会員数の現状報告

会員数の現状報告（6月1日現在）

- ・正会員：95社・人(前回96社・人)、192住宅(前回192住宅)
- ・賛助会員：59社・人(前回65社・人)
- ・会費収入予定：1,920千円(正133万+賛59万)
- ・新年度年会費納入状況

(2月末請求書送付、3月30日締め切り済み、4月末未納会員には督促の書面を送付済み)

正会員：76社・人、1,190千円、未払い10社・人、140千円

賛助会員：47社・人、470千円、未払い12社・人、120千円

*未納会員には6月1,2日に電話またはメールで督促済み。

- ・2016年度入退会状況は別紙の通り

2) 協会の収支状況報告(3月末日現在)

- ・協議事項の「議案書」にて報告

3)第2回定期総会記念(6月25日)

・6月25日(土)15:30～、北海道自治労会館3階 中ホール

・総会開催日、総会前に『(仮)「介護保険外 地域資源ガイド」発刊記念 ショウケース』を開催すべく、無料掲載者に5月28日に出演依頼メールを送付し、本日現在1団体より出演受諾の連絡あり。ただし3,4団体からの出演受諾が無ければ別のイベント開催の検討が必要。

①複数理事より総会への会員動員のためのイベントとして「ショウケース」では動員につながらないのではないか。やはり記念セミナーを開催すべきとの意見が出された。

②奥田会長より招聘講師とし高齢者住宅財団の高橋理事長の名前が挙げられ、他の複数理事より賛同があったので、その場で電話にて講演依頼したところ承諾を得られたので高橋紘士氏を講師とする事業者・市民セミナーを開催することに決定。

4)「介護保険外 地域資源ガイド」

・無料掲載情報32件、広告18団体21件で6月中旬に発刊予定。

5)2016年度「サービス付き高齢者向け住宅等生活相談員養成研修」(春季5,6月、秋季10,11月の2回)

・春季については5月10日締め切り時、受講申し込み4名のため開催断念。

・秋季は、本日現在2名の申し込み。

①鹿野理事より、「住宅では春は何かと忙しいので年2回ではなく秋1回開催が良いのではないか」との意見があった。次年度は秋1回開催で検討することとなった。

6)2016年度「サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修」(8月初旬)

・当初昨年同様7月開催を予定していたが準備不足のため8月初旬に延期し、基調講義の講師はシルバー新報編集長の川名佐貴子氏に依頼予定。

・近日中に講師の内諾をいただき、6月末周知開始(勉強会開催案内送付時)予定。

7)2016年度「サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修」(9月初旬)

・近日中に、カリキュラムを決定し、6月周知開始(勉強会開催案内送付時)予定。

①鹿野理事より、「札幌のサ高住では、定期報告で虐待防止の研修受講を報告することとなっているため、同一受講者にも配慮し、毎年同じカリキュラムではなく1名でも講師を変えてみてはどうか」との意見があった。今年度のカリキュラムで検討することとなった。

8)委員会開催状況について

・企画広報委員会・・・・・・開催状況は議案書参照。本日次回開催日を決定予定。

・新規活動準備委員会・・・・・・開催状況は議案書参照。本日次回開催日を決定予定。

9)その他

・特になし

5 協議事項

1) 総会議案書について(別紙参照)

1. 2015年度(平成27年度)事業報告、決算報告、監査報告書

- ①「事業報告」の「(6) 被虐待者、行き場のない高齢者の支援」は検討を進められなかった旨、記載を修正する。
- ②「決算報告」、「監査報告書」については、特に理事より意見なし。

2. 2016年度(平成28年度)事業計画(案)、予算(案)

- ①「事業計画(案)」に関して、以下のような意見があり、(案)に加筆することとなった。
 - ・本州の住宅事業者や住み替え希望者を対象とした、見学ツアーを企画する。これにより新規会員の獲得にもつなげる。
 - ・被虐待者など一時的避難の受け入れの仕組みを検討する。
 - ・介護職員の紹介事業を検討する。
- ②「予算(案)」については、特に理事より意見なし。

2) シーズネット15周年記念誌への広告協力について

- ・本会事務局を置く、NPO法人シーズネットより創立15周年記念誌発刊に当たり広告の要請(A4判、1ページ、3万円)を受けたので協力することとしたい。

- ①理事より特に異議なく承認した。

3) その他

- ①「医療連携」についての勉強会を連続的に開催してはどうか。
- ②昨年度は理事会開催が2回のみであったが本年度はもう少し活発に開催することとしたい。

6 次回開催について

- ・日時については都合伺いのうえ、開催とする。

以上で第19回理事会を終了した。